ブースNo
T34

TeSH Tech Startup HOKURIKU

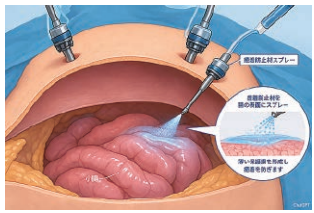
研究機関概要

【研究代表者】山岡 哲二 教授
【部　　署】保健医療学部･臨床工学科
【研究開発分野】医療分野

公立大学法人
公立小松大学

TEL:0761-48-3204 / FAX:0761-48-3232
https://www.komatsu-u.ac.jp/academics/academic-staff/pdf/tetsuji_yamaoka.pdf

〒923-0961
石川県小松市向本折町ヘ14−1



STEP1

臓器/組織表面を超薄被膜で保護修復するインテリンジェント材の社会実装

▶ 事業分野

腹部や骨盤内手術後には高い確率で組織の癒着が発生し、腸閉塞や不妊などのリスクにつながります。これを防止する新しいスプレー型医療機器を社会実装します。

▶ シーズの特徴

従来の癒着防止フィルムはハンドリングに問題があり、腹腔鏡手術のために2つの溶液を混合して術部に吹き付けるタイプが開発されました。我々は、さらなる高機能化を目指し、単一の溶液が組織表面に接触した時に、自発的に組織接着性の超薄膜を形成する新たな癒着防止スプレーを開発しました。低侵襲なので今後の適応拡大が期待されます。

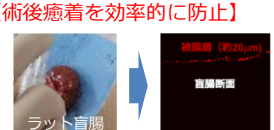
ココがスゴい!

Benefit

生体に糖が吸収される現象を利用
→ 世界初（特許第6954529号）

組織接触がトリガー
約20μm厚の超被膜で組織を被覆
→ 損傷組織を優先的に保護

【術後癒着を効率的に防止】



Difference

1液性でready to use
→ 術場の煩雑な操作は不要

組織接着性を有する
→ 術部を確実に保護

	低侵襲性	簡便性（準備）	生体吸収性	組織接着性	腹腔鏡	ハンドリング
フィルム型	×	○	○	×	△（主に開腹手術）	×
従来品	○	×	○	△（付着）	◎	△
開発品	◎	○	○	◎	◎	◎

ASK

VC伴走支援のもと、製品仕様確定と安全性試験を含めた非臨床PoC構築を完了したい。